

Economic Indicators

発表日: 2022年10月7日(金)

主要経済指標予定(2022年10月10日~10月14日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(10月10日~10月14日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
10月10日 (月)	スポーツの日				
10月11日 (火)	8:50 8月国際収支統計 経常収支(原数値、億円)	+1,899	+758	▲6,218~+5,311	+2,290
	14:00 9月景気ウォッチャー調査 現状判断DI(季節調整値)	47.8pt	47.8pt	50.6pt~42.0pt	45.5pt
	先行き判断DI(季節調整値)	51.4pt	50.8pt	45.0pt~53.9pt	49.4pt
10月12日 (水)	8:00 10月ロイター短観 製造業DI	—	—	—	10
	非製造業DI	—	—	—	11
	8:50 8月機械受注統計 船電除く民需(前月比)	▲3.0%	▲3.0%	▲7.5%~+4.5%	+5.3%
	(前年比)	+8.0%	+12.1	+6.0%~+19.7%	+12.8%
10月13日 (木)	8:50 9月貸出・預金動向 国内銀行貸出残高(前年比)	—	—	—	+2.2%
	8:50 9月企業物価指数 (前月比)	+0.4%	+0.3%	▲0.2%~+0.4%	+0.2%
	(前年比)	+9.1%	+8.8%	+8.4%~+9.1%	+9.0%
10月14日 (金)	8:50 9月マネーストック M2(前年比)	+3.4%	+3.4%	+3.3%~+3.5%	+3.4%
	M3(前年比)	+3.0%	+3.0%	+2.9%~+3.1%	+3.0%
	広義流動性(前年比)	+4.0%	+4.0%	+3.9%~+4.3%	+4.0%

8月機械受注・船舶電力除く民需 当社予想：前月比▲3.0% 中央値：同▲3.0%

8月の機械受注（船舶電力除く民需）は、前月比▲3.0%を予想する。前月からの反動減でマイナスを見込むが、7-8月平均で見れば4-6月期対比で増加となる見込み。先行きについては、国内感染拡大の一服による経済正常化への期待から企業の投資意欲は強く、受注額は回復傾向での推移を予想する。もっとも、欧米を中心とした高インフレやそれに伴う金融引き締めで世界的な景気後退懸念が強まっている点には注意が必要。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

9月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比+9.1% 中央値：同+8.8%

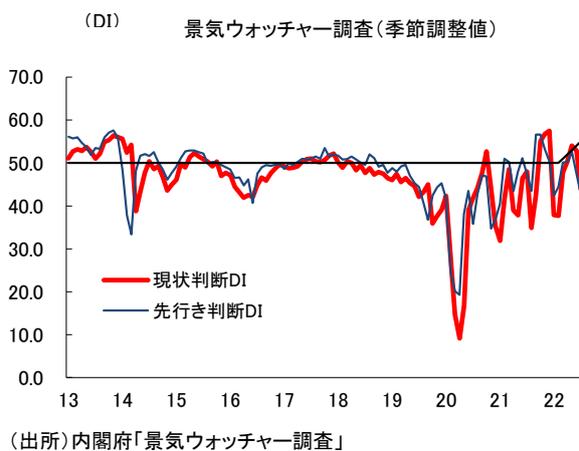
9月の国内企業物価を前年比+9.1%、前月比+0.4%と予想する。電気・ガス・水道の押し上げが続く一方で、これまで国内企業物価を牽引してきた石油・石炭製品や化学製品の伸びは鈍化する見込み。先行きについても、欧米諸国を中心とした景気減速懸念の強まりで原油相場は一時期と比べて水準を切り下げており、エネルギー価格の上昇は一服感を強めるだろう。前年の高い伸びの裏が出ることもあり、来月以降、前年比での伸び幅は縮小傾向に向かうとみる。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

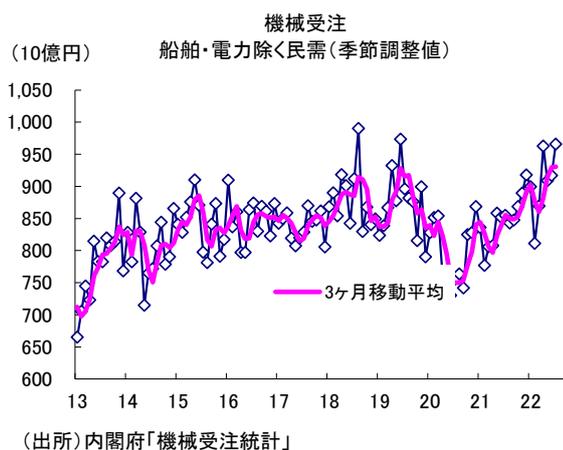
図表1



図表2



図表3



図表4



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

